

平成29年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

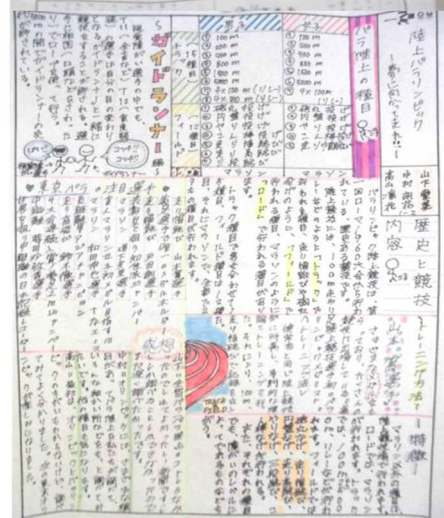
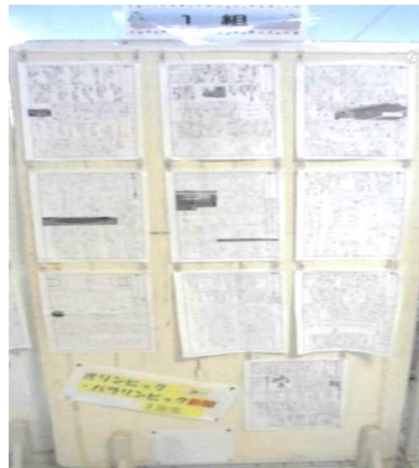
- | | |
|-----|------------------------------------|
| I | スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び |
| II | マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成 |
| III | スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築 |
| IV | 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成 |
| V | スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成 |

道府県・政令市名【 石川県 】

1 実践テーマ	【I、II、III、V】														
2 実施対象者	金沢市立北鳴中学校 1年生190名（1～6組）														
3 展開の形式	<p>(1) 学校における活動</p> <p>① 教科名（保健体育科、総合的な学習の時間）</p> <p>② 行事名（ ）</p> <p>③ その他（ ）</p> <p>(2) 地域における活動</p> <p>① イベント名（ ）</p> <p>② その他（ ）</p>														
4 目標 (ねらい)	<ul style="list-style-type: none"> ・オリンピック・パラリンピック競技の調べ学習を通して、ホランテニア精神を育成し、国際理解を進める。 ・スポーツを楽しむ心を育成し、インクルーシブな社会の構築を目指す。 														
5 取組内容	<p>○活動内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図書館やインターネット等を利用して調べ学習を行い、新聞にまとめる。 <p>○授業の進め方</p> <table border="1"> <tr> <td>・運動やスポーツの必要性和楽しさ</td> <td>2時間 保健体育</td> </tr> <tr> <td>・オリンピック、パラリンピックに対する関わり方を知る</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・学習内容の説明</td> <td>1時間</td> </tr> <tr> <td>・調べ学習用の班分けと担当競技、種目の決定</td> <td>総合的な学習の時間</td> </tr> <tr> <td>・各担当競技、種目の調べ学習</td> <td>2時間 保健体育</td> </tr> <tr> <td>・新聞まとめ</td> <td>2時間 総合的な学習の時間</td> </tr> <tr> <td>・発表会</td> <td>1時間 総合的な学習の時間</td> </tr> </table> <p>○対象</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1年生 各クラス男子5班、女子5班 <p><調べる内容例></p> <ol style="list-style-type: none"> ① 競技、種目の解説 ② 競技場の特徴や係員、ボランティアの仕事など ③ 競技人口や盛んな国 ④ 競技の歴史（過去の試合結果など） ⑤ 東京オリンピック・パラリンピック注目選手、チーム（海外選 	・運動やスポーツの必要性和楽しさ	2時間 保健体育	・オリンピック、パラリンピックに対する関わり方を知る		・学習内容の説明	1時間	・調べ学習用の班分けと担当競技、種目の決定	総合的な学習の時間	・各担当競技、種目の調べ学習	2時間 保健体育	・新聞まとめ	2時間 総合的な学習の時間	・発表会	1時間 総合的な学習の時間
・運動やスポーツの必要性和楽しさ	2時間 保健体育														
・オリンピック、パラリンピックに対する関わり方を知る															
・学習内容の説明	1時間														
・調べ学習用の班分けと担当競技、種目の決定	総合的な学習の時間														
・各担当競技、種目の調べ学習	2時間 保健体育														
・新聞まとめ	2時間 総合的な学習の時間														
・発表会	1時間 総合的な学習の時間														

手や国内選手) について
 ⑥ 東京オリンピック・パラリンピックに向けた、その競技や種目の課題について

※新聞を生徒玄関に掲示し、周知する。



<p>6 主な成果</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 体育理論の授業内容と関連させて進めることで、調べ学習をスムーズに行うことができ、細かい内容までまとめることができた。また、その競技についての理解を深めることができた。 • 当初はオリンピック、パラリンピックへの関わり方について訪ねたところ、「応援すること」という意見がほとんどであったが、今回の取組後は、「ボランティアをする」「施設や環境の整備をする」「外国人をもてなす」などの多様な意見が見られるようになった。
<p>7 実践において工夫した点 (事業の特色)</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 調べる内容についての必須項目とその具体例を提示したことで、充実した新聞を作ることができた。 • 各学級の担当種目を、オリンピック種目、パラリンピック種目それぞれバランス良く配置したことで、これまで自分が知らなかった種目を調べた生徒が多く、新たな知識の獲得につながった。
<p>8 主な課題等</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 今回は生徒数と、実施競技種目数のバランスをとることができたが、学校規模によっては、調べる種目の精選が必要であると考える。 • 今年度は、年度途中からの実施になったため、実施時期の調整や時間の確保に苦慮した。
<p>9 来年度以降の実施予定</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 来年度も体育理論の時間を利用して、オリンピック・パラリンピックに対する多様な関わり方等について理解を深めていきたい。